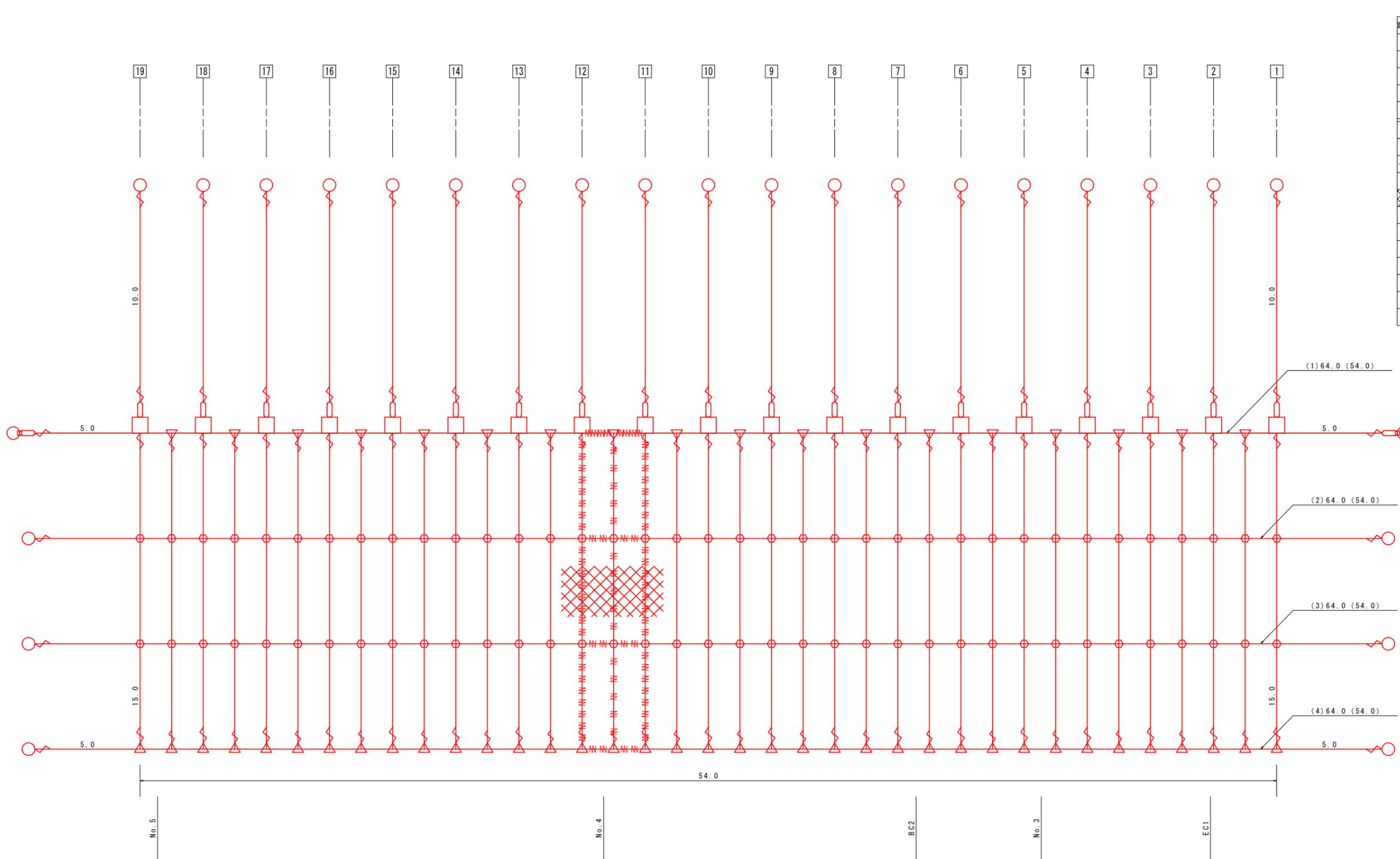


ポケット式落石防護網展開図 S=1:100



部材数量表

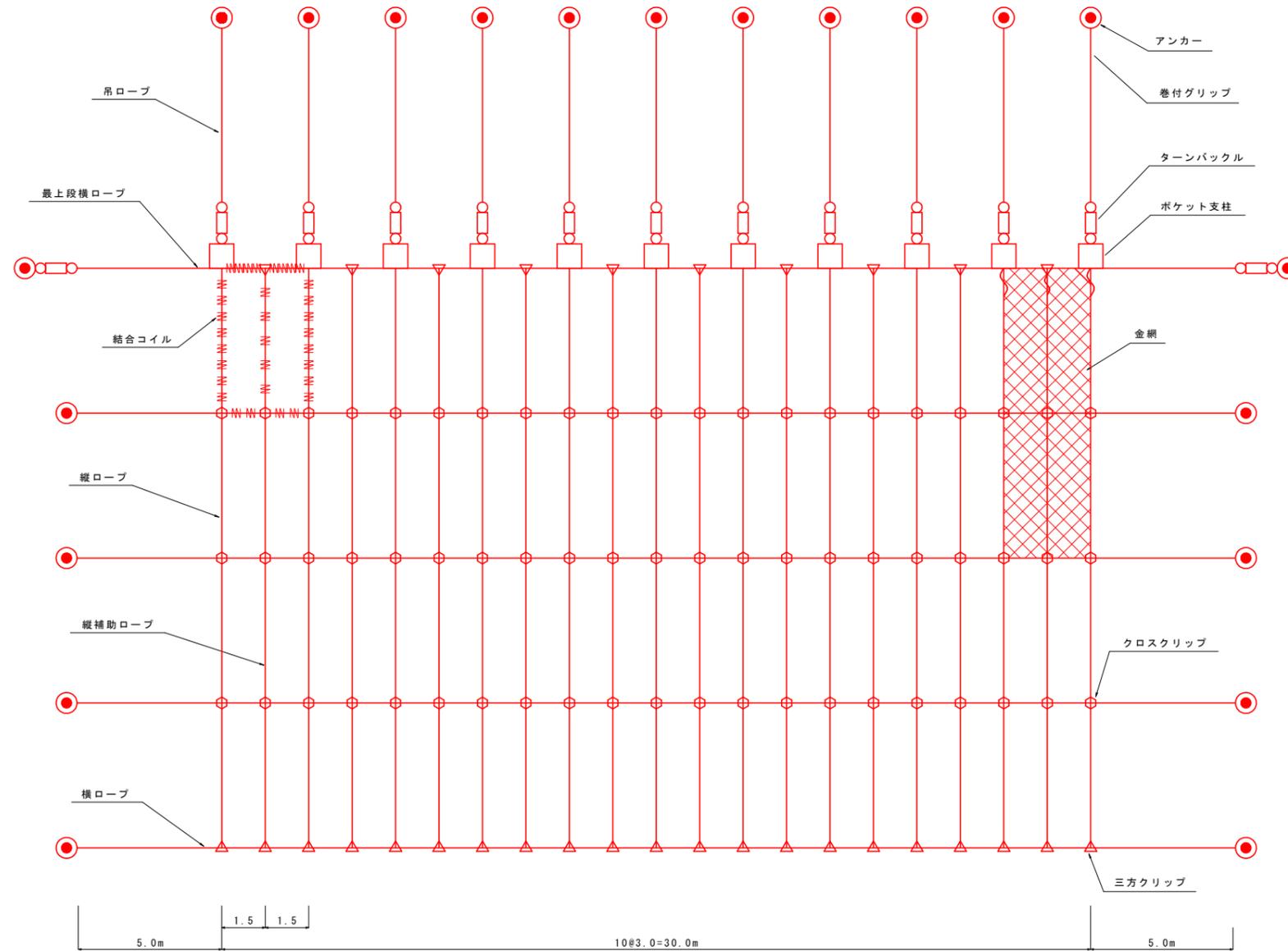
記号	品名	規格	数量	単位
	架設面積	垂鉛メッキ3種 線径3.2mm	810.0	m ²
○	岩部用アンカー	セメントアンカー D25 (M24) x1000	27	本
●	土中用アンカー	E3アンカー 土圧係数付 31.8φ x2000	—	本
□	ポケット支柱	岩部用 H=2.5m	19	基
■	ポケット支柱	土中用 H=2.5m	0	基
	吊ロープ		182.2	m
	縦ロープ	3x7 G/O 14φ	277.2	713.8 m
	横ロープ		254.4	m
	縦補助ロープ	3x7 G/O 12φ	263.7	m
⊗	金網	Z-GS3 3.2φ x50x50	899.1	m ²
○	クロスクリップ	14, 12φ用 (小)	74	個
△	三方クリップ	14, 12φ用 (小)	55	個
∟	巻付グリップ	14φ用	84	本
∟	巻付グリップ	12φ用	36	本
≡	結合コイル	3.2φ x50x300	1086	個
∪	ターンバックル	22φ	21	本
□	ターンバックル継手		2	本

参考図

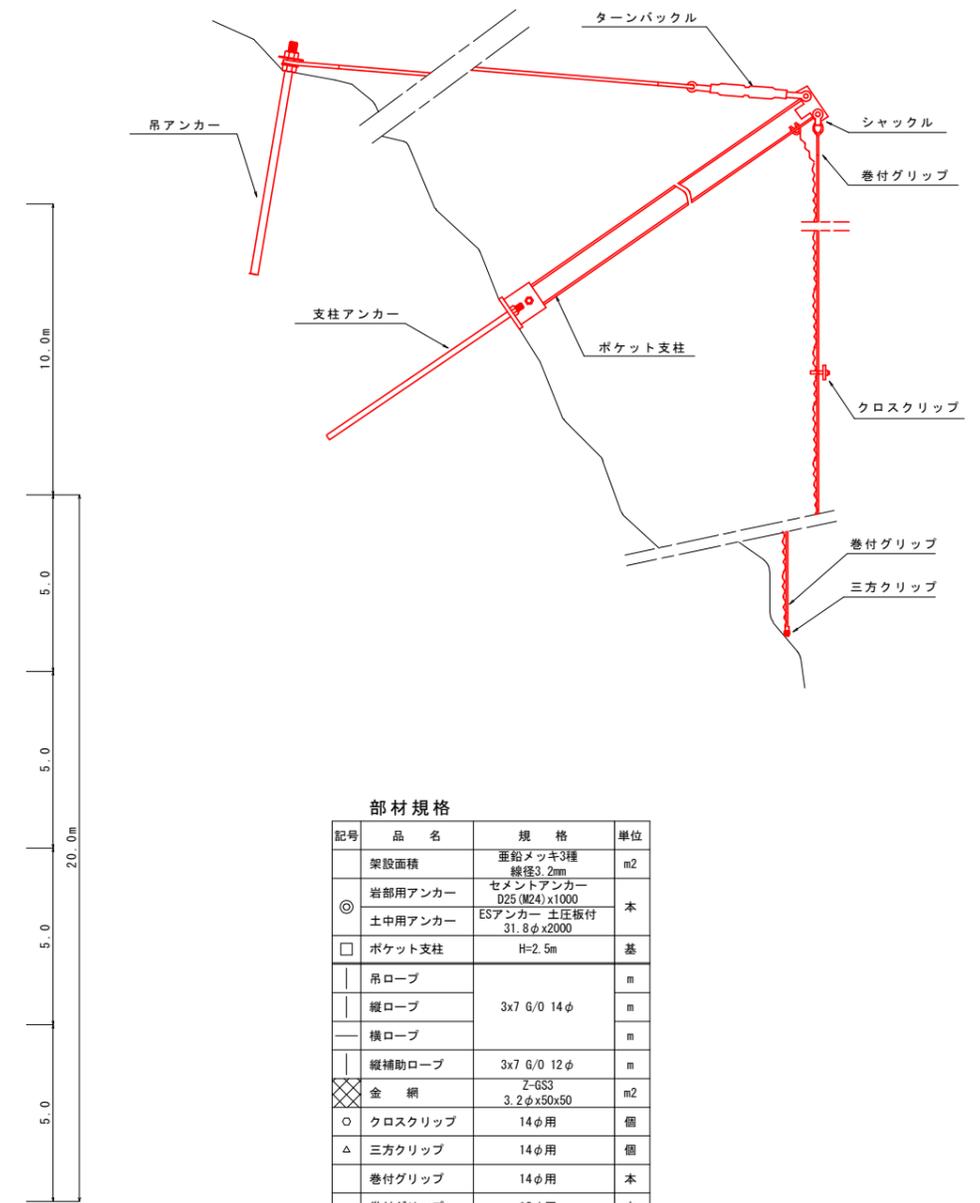
工事名	R1馬土 国道492号 美・穴吹調子野 落石防止工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市穴吹町調子野		
図面名	ポケット式落石防護網展開図 (参考図)		
縮尺	1:100	図面番号	1 / 11
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 (美馬)		

1工区

ポケット式落石防護網標準展開図 S=1:100



標準断面図



部材規格

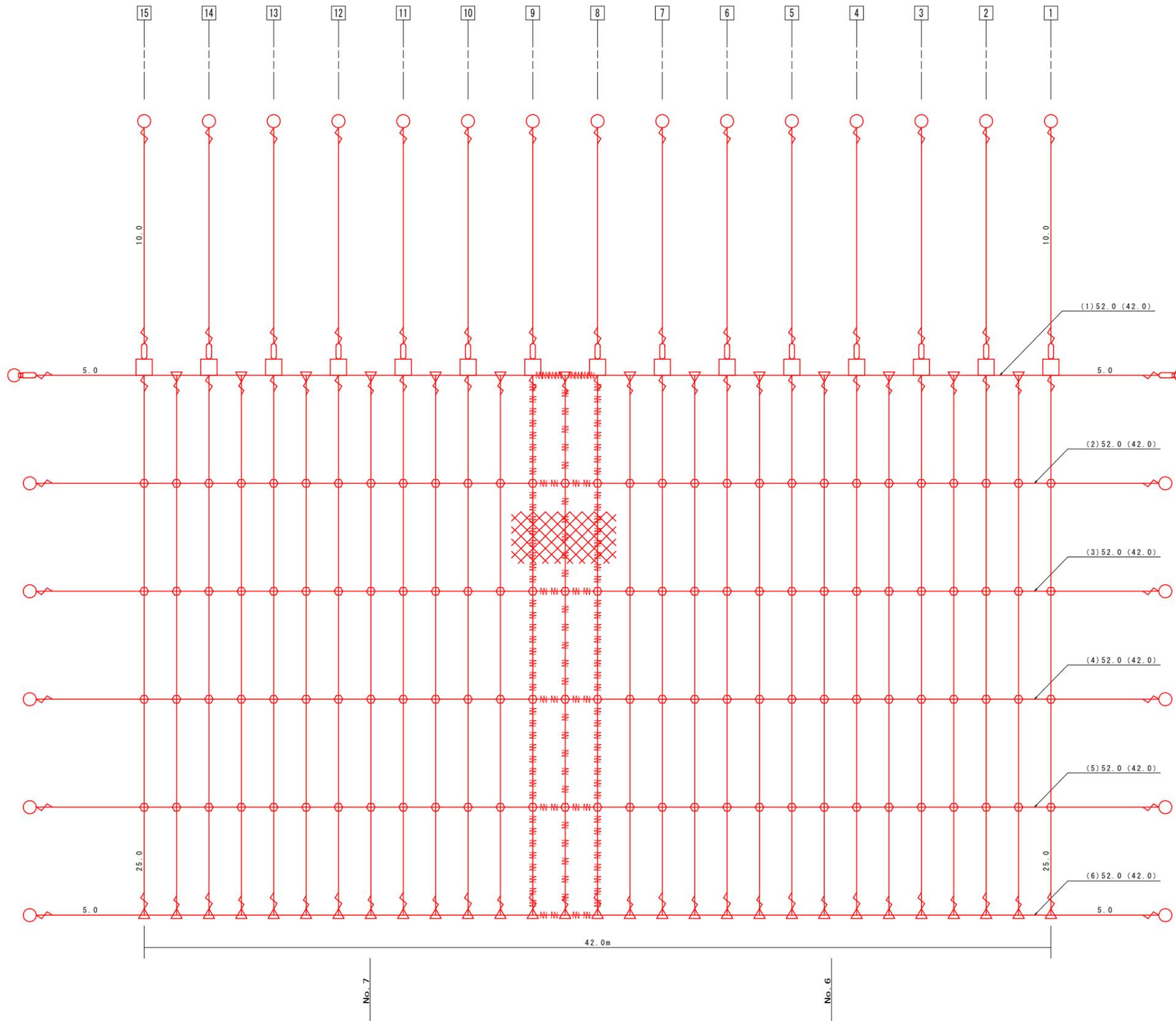
記号	品名	規格	単位
	架設面積	亜鉛メッキ3種 線径3.2mm	m ²
◎	岩部用アンカー	セメントアンカー D25(M24)x1000	本
◎	土中用アンカー	ESアンカー 土圧板付 31.8φx2000	本
□	ポケット支柱	H=2.5m	基
	吊ロープ		m
	縦ロープ	3x7 6/0 14φ	m
—	横ロープ		m
	縦補助ロープ	3x7 6/0 12φ	m
⊗	金網	Z-6S3 3.2φx50x50	m ²
○	クロスクリップ	14φ用	個
△	三方クリップ	14φ用	個
	巻付グリップ	14φ用	本
	巻付グリップ	12φ用	本
≡	結合コイル	3.2φx50x300	個
○	ターンバックル	22φ	本

※アンカー(支柱用含む)は現地状況に応じて、岩部用または土中用を使い分けること。

参考図

1 工区	
工事名	R1馬土 国道492号 美・穴吹調子野 落石防止工事
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市穴吹町調子野
図面名	ポケット式落石防護網標準展開図 (参考図)
縮尺	1:100 図面番号 2 / 11
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部(美馬)

ポケット式落石防護網展開図 S=1:100



部材数量表

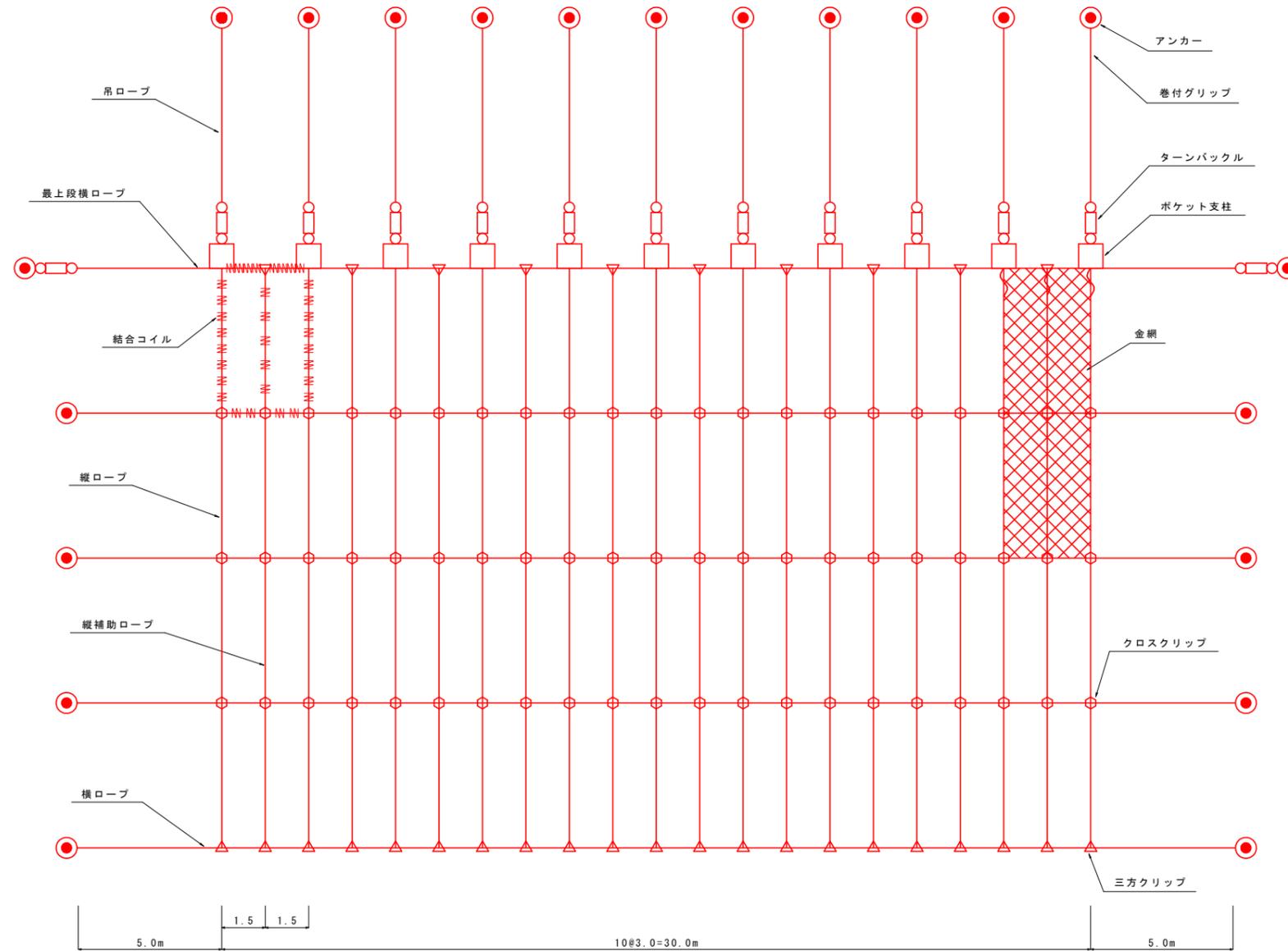
記号	品名	規格	数量	単位
	架設面積	垂直メッキ3種 線径4.0mm	1050.0	m ²
○	岩部用アンカー	セントアンカー D29 (M27) x1000	27	本
●	土中用アンカー	ESアンカー 土圧板付 31.8φ x2000	—	本
□	ポケット支柱	岩部用 H=2.5m	15	基
■	ポケット支柱	土中用 H=2.5m	—	基
	吊ロープ		143.3	m
	縦ロープ	3x7 6/0 16φ	368.3	820.9
—	横ロープ		309.3	m
	縦補助ロープ	3x7 6/0 12φ	345.1	m
⊗	金網	Z-GS3 4.0φ x50x50	1165.5	m ²
○	クロスクリップ	16φ用(大)	116	個
△	三方クリップ	16φ用(大)	43	個
↘	巻付グリップ	16φ用	72	本
↙	巻付グリップ	12φ用	28	本
≡	結合コイル	4.0φ x70x300	1342	個
○	ターンバックル	25φ	17	本
□	ターンバックル継手		2	本

参考図

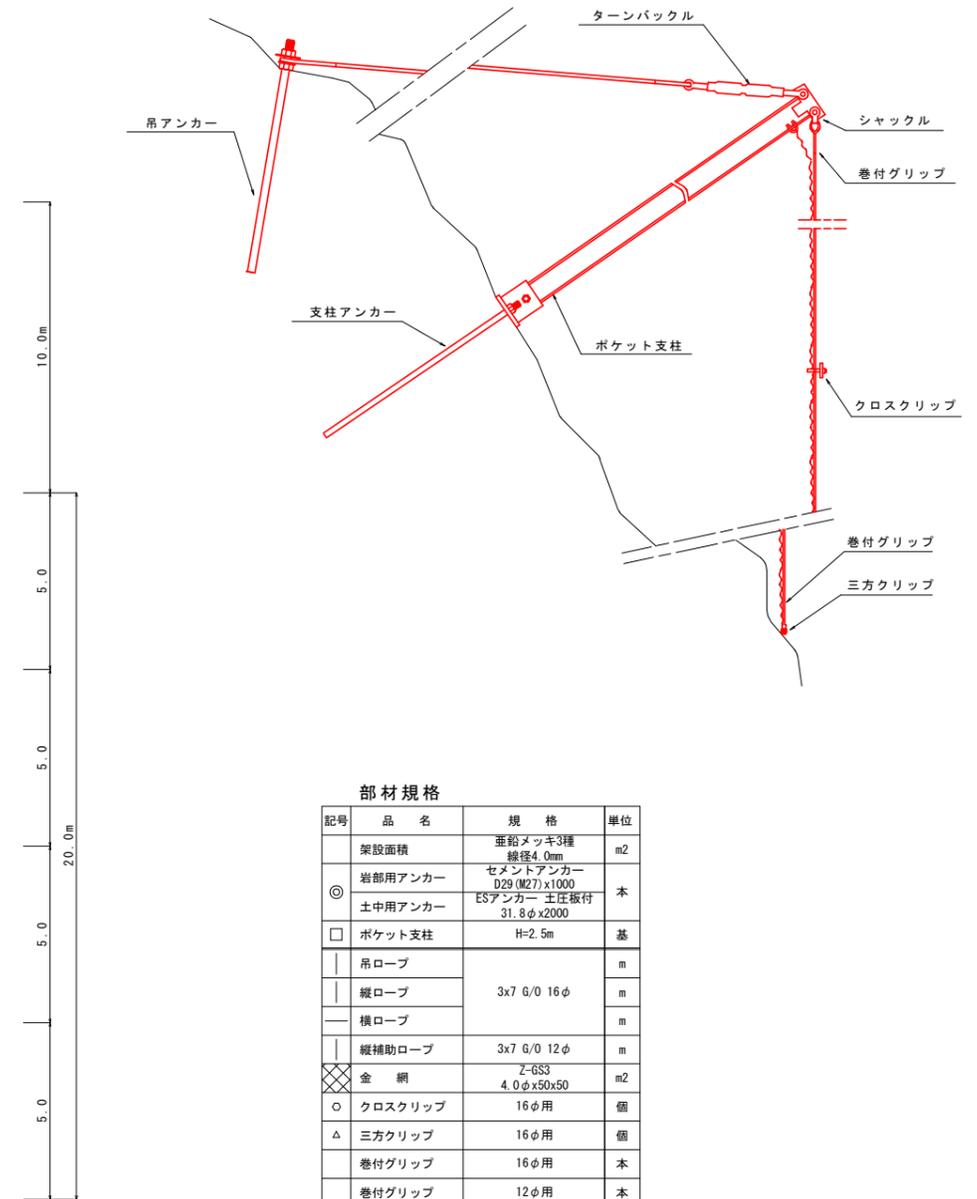
工事名	R1馬土 国道492号 美・穴吹調子野 落石防止工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市穴吹町調子野		
図面名	ポケット式落石防護網展開図(参考図)		
縮尺	1:100	図面番号	4 / 11
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部(美馬)		

3工区

ポケット式落石防護網標準展開図 S=1:100



標準断面図



部材規格

記号	品名	規格	単位
	架設面積	亜鉛メッキ3種 線径4.0mm	m ²
◎	岩部用アンカー	セメントアンカー D29 (M27) x1000	本
◎	土中用アンカー	ESアンカー 王冠板付 31.8φ x2000	本
□	ポケット支柱	H=2.5m	基
	吊ロープ		m
	縦ロープ	3x7 6/0 16φ	m
	横ロープ		m
	縦補助ロープ	3x7 6/0 12φ	m
⊗	金網	Z-GS3 4.0φ x50x50	m ²
○	クロスクリップ	16φ用	個
△	三方クリップ	16φ用	個
	巻付グリップ	16φ用	本
	巻付グリップ	12φ用	本
m m	結合コイル	4.0φ x70x300	個
○	ターンバックル	25φ	本

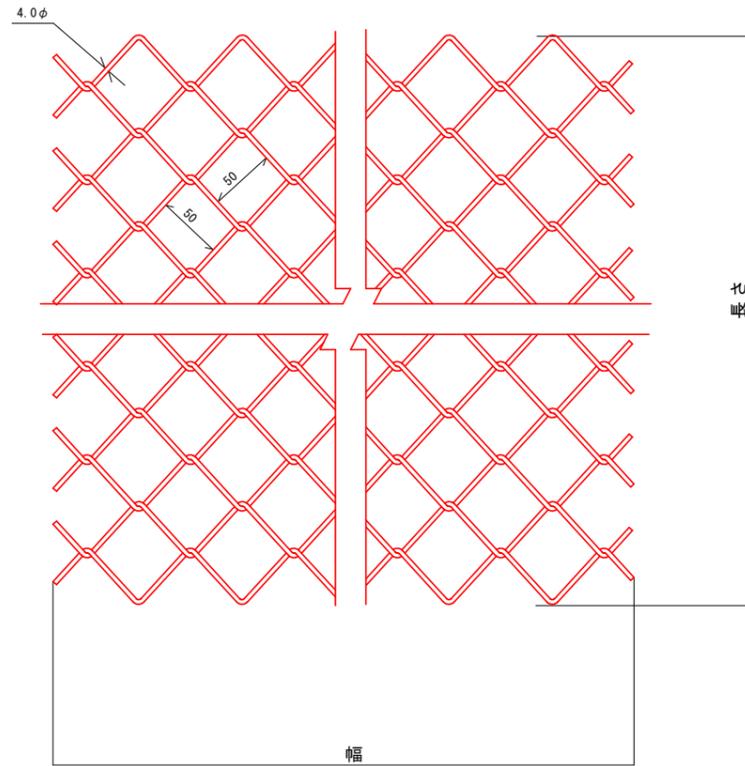
※アンカー(支柱用含む)は現地状況に応じて、岩部用または土中用を使い分けること。

参考図

3工区			
工事名	R1馬土 国道492号 美・穴吹調子野 落石防止工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市穴吹町調子野		
図面名	ポケット式落石防護網標準展開図 (参考図)		
縮尺	1:100	図面番号	5 / 11
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部(美馬)		

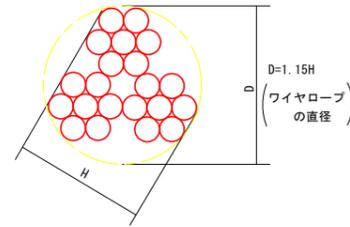
ポケット式落石防護網標準部品図

金網



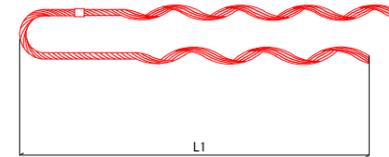
ワイヤロープ

構成	ロープ径		切断荷重 (kN)	垂吊付着量 (g/m ²)
	ロープ径 (mm)	許容差 (%)		
3x7 G/O	12	+7	78.8以上	165以上
	16	-0	139以上	230以上



巻付グリップ

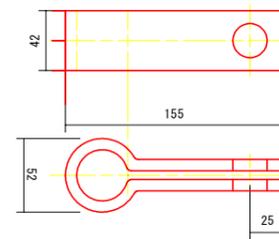
種類	適用ワイヤロープ径	グリップ寸法		掌握力 (kN)
		L1 (mm)		
12φ用	3x7 G/O 12φ	900		78.8以上
16φ用	3x7 G/O 16φ	1100		139以上



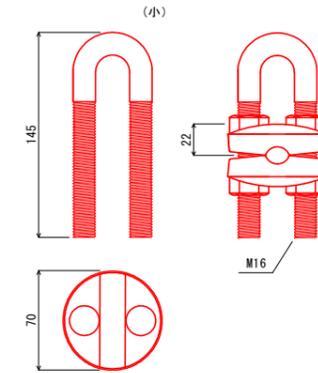
ターンバックル



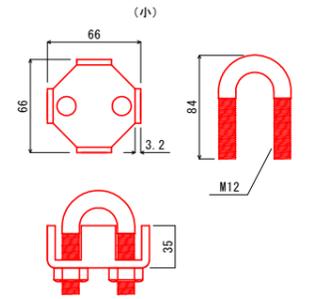
ターンバックル継手



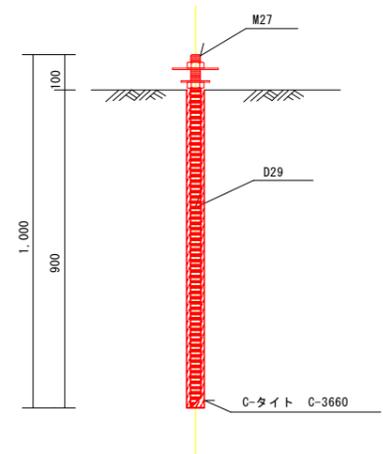
三方クリップ



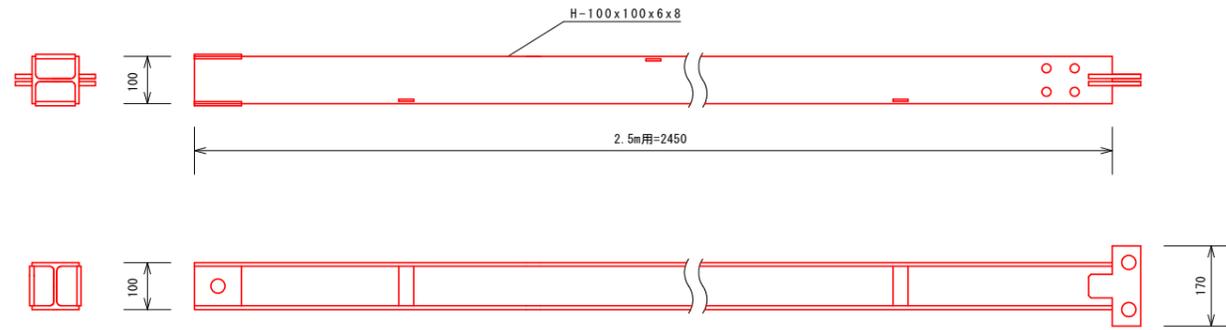
クロスクリップ



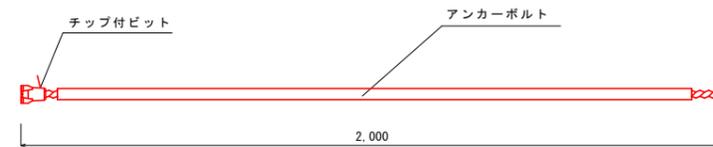
岩盤用：セメントアンカー S=1:10



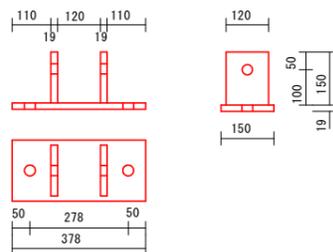
ポケット支柱



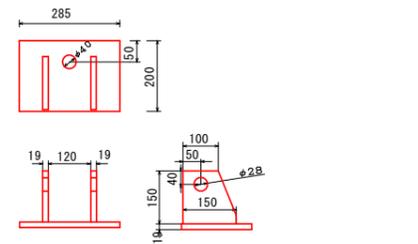
土中用：ESアンカー S=1:10



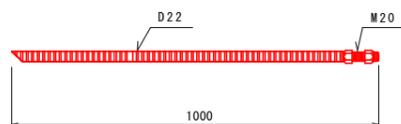
岩部用ベースプレート S=1:10



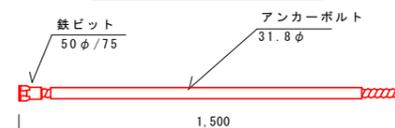
土中用ベースプレート S=1:10



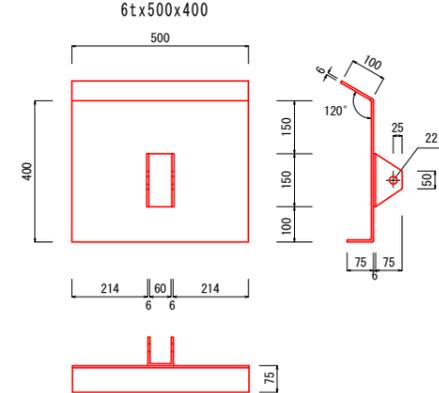
岩部用支柱アンカー



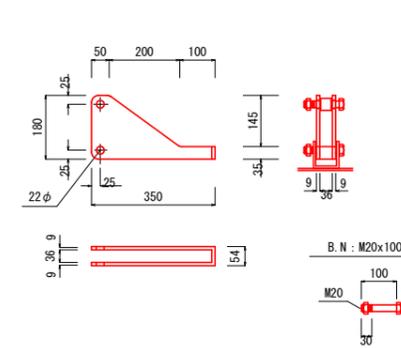
土中用支柱アンカー



土圧抵抗板



取付金具

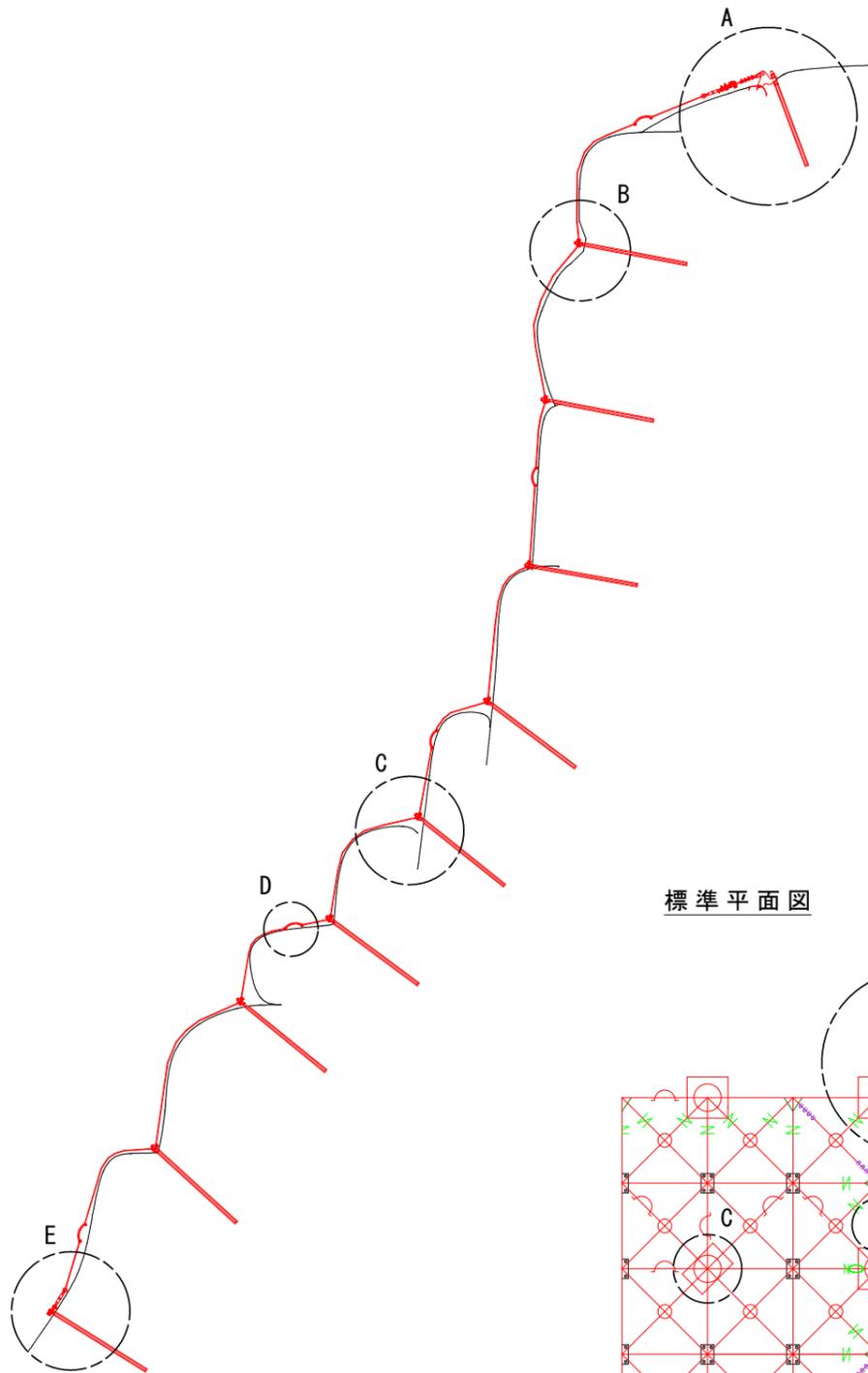


参考図

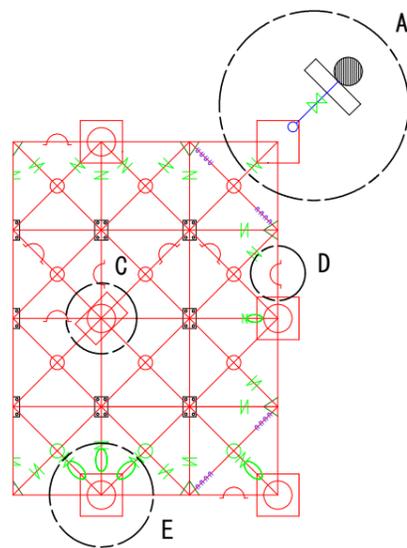
工事名	R1馬土 国道492号 美・穴吹調子野 落石防止工事	3工区
路線名等	一般国道492号	
工事箇所	美馬市穴吹調子野	
図面名	ポケット式落石防護網標準部品図 (参考図)	
縮尺	図示	図面番号 6 / 11
会社名		
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 (美馬)	

ロープ伏一般構造図

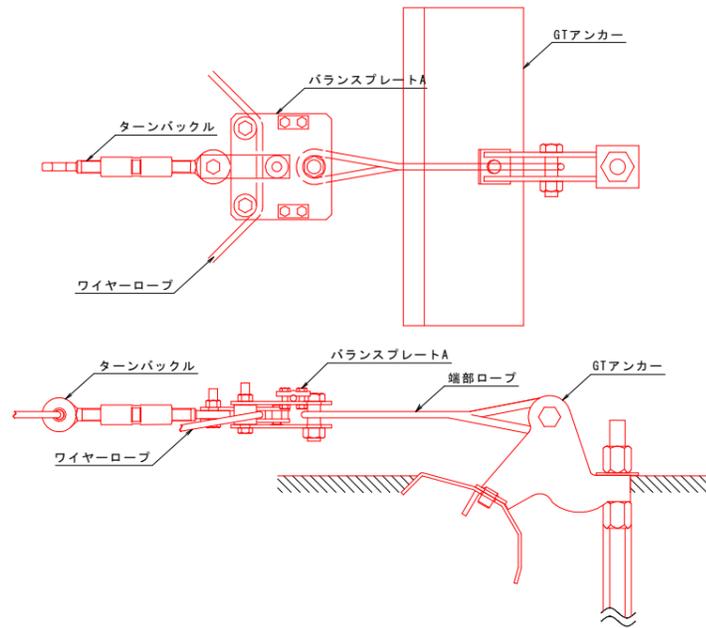
標準断面図



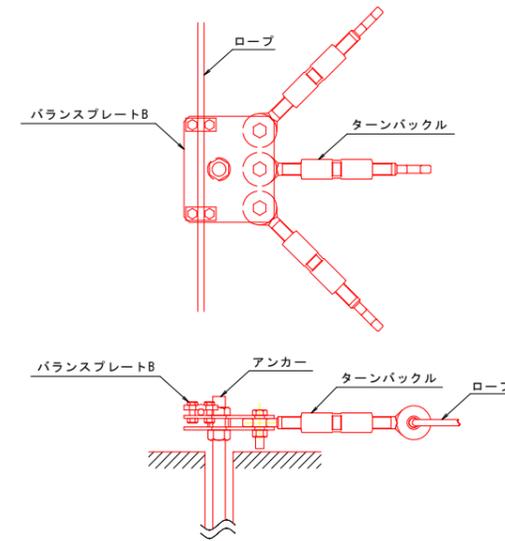
標準平面図



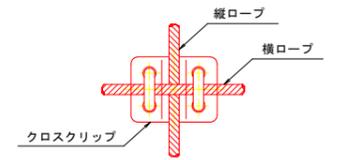
A部詳細図



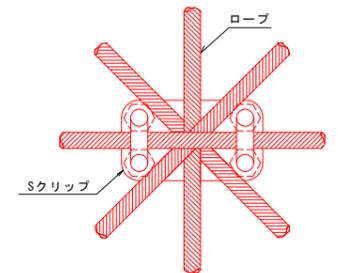
E部詳細図



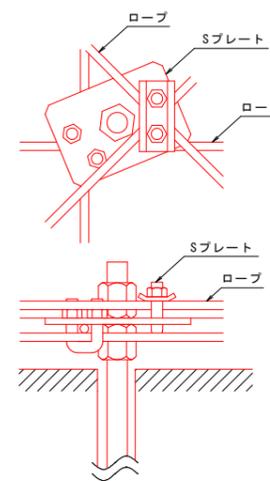
クロスクリップ詳細



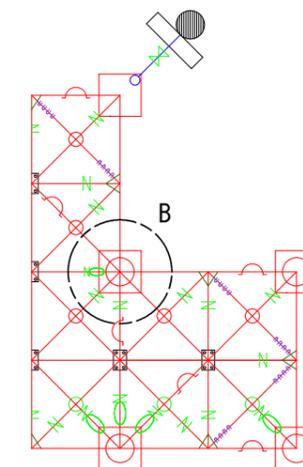
Sクリップ詳細



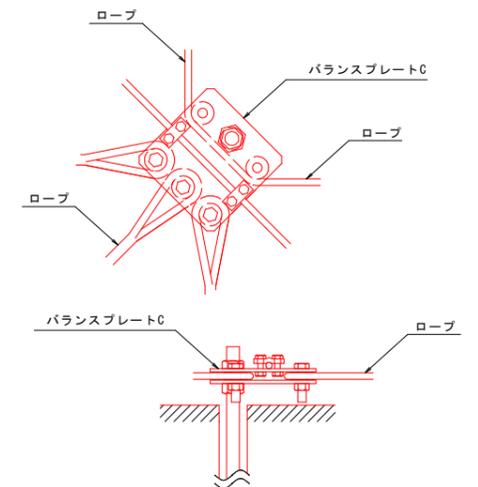
C部詳細図



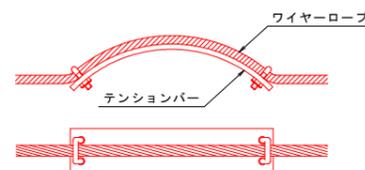
バランスプレートC設置詳細図



B部詳細図



D部詳細図

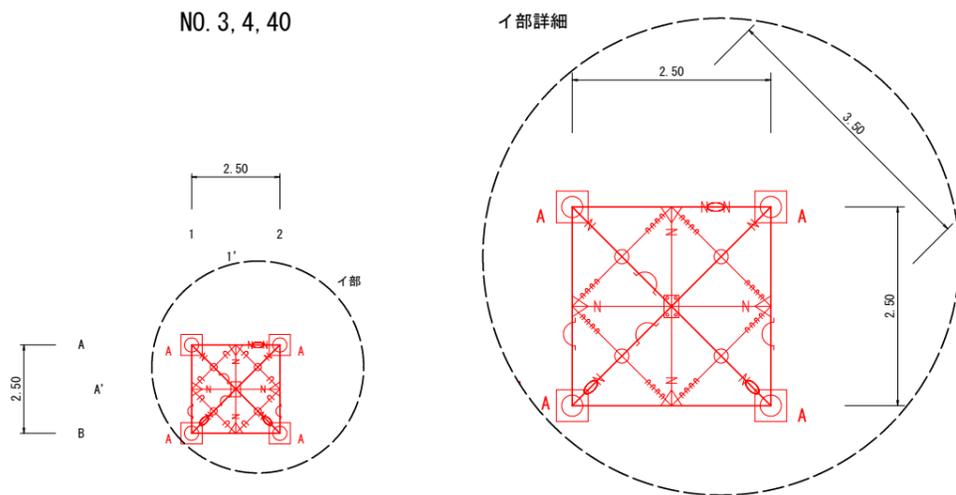


参考図

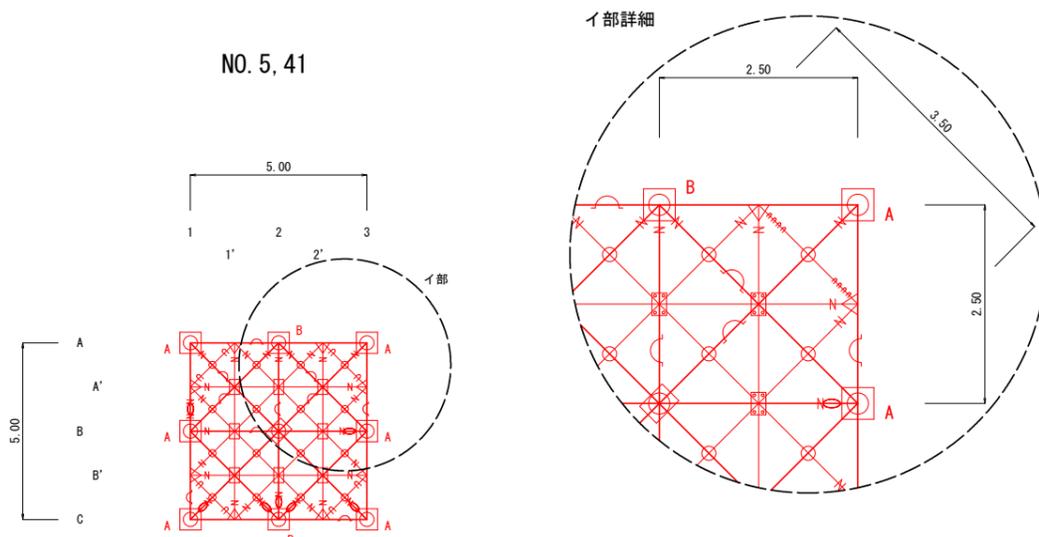
工事名	R1馬土 国道492号 美・穴吹調子野 落石防止工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市穴吹町調子野		
図面名	ロープ伏一般構造図 (参考図)		
縮尺	-	図面番号	7 / 11
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部(美馬)		

ロープ伏工展開図 S=:100 (1工区)

NO. 3, 4, 40



NO. 5, 41



部材数量表 (NO. 3, 4, 40)

記号	名称	規格・寸法	数量	
	架設面積		6.3 m ²	
+	縦ロープ・横ロープ	12φ 3×7 G/0	15.1 m	0.0 m
X	斜めロープ	"		4.8 m
□	外周ロープ	"		10.3 m
+	補助縦横ロープ	12φ 3×7 G/0	架設内	4.4 m
X	補助斜めロープ	"	11.4 m	7.0 m
			実延長	4.8 m
			17.3 m	12.5 m
⊙	クロスクリップ	小	4 個	
+	巻付グリップ	12φ用	10 本	
+	ワイヤークリップ	12φ用	32 個	
X	Sクリップ	4.5×100×60	1 個	
—	テンションバー	6t ×50×260	4 個	
○	ターンバックル	22φ E&E	3 個	
X	三方Aクリップ	小	4 個	
◇	Sプレート	9t ×180×125	0 個	
⊙	岩部用交点アンカー	D29-1000	0 本	
⊙	土中用交点アンカー	R29-1500	0 本	
⊙	岩部用端部アンカー	D29-1000	4 本	
⊙	土中用端部アンカー	R29-1500 (R型鋼板付)	0 本	
⊙	土中用押えアンカー	R29-1500	0 本	
□A	バランスプレートA型	6t ×200×200	4 個	
□B	バランスプレートB型	6t ×200×170	0 個	
□C	バランスプレートC型	6t ×200×200	0 個	
+	巻付グリップ	16φ用	0 本	
○	端部ロープ (アイロック)	16φ 3×7 G/0 L=2.0	0 本	

* 当初設計時にはロープの割増率を1割増とする
 * 縦、横、斜めロープ1本に対し連結部材相当を差し引く (設計時はターンバックル等 -1.00m、巻付グリップ -0.16m×2とする)
 * 斜めロープは天端より下辺までロープを1本で構成する
 * 外周ロープは 50m/本 以下で構成する
 * 外周ロープ1本に対し連結部材相当を差し引く (設計時はターンバックル -0.30m、巻付グリップ -0.16m×2とする)

* 実延長は、補助ロープ両端の折返し長を含む (設計時は端部折返し長を +0.60m×2とする)

* ロープの端処理に使用 (両端 2本)
 * 巻付グリップが設置困難な箇所に使用
 * 補助ロープ端部折り返し箇所に4個

* 主ロープの2スパンに 1個
 * 主ロープ 1本に 1個

* バランスプレートの浮き上がりなどが発生する場合や、岩塊を押え込むことができない箇所においては、適宜押さえアンカーを増設する

* 端部ロープに使用する

* アンカーの種類 (岩部用・土中用) は、アンカー調査後、設計計算書を基に変更する。
 * 岩塊を押え込むことができない箇所においては、適宜アンカーを増設する。
 * 設計数量等は概算のため、施工時に適宜調整し変更する。

部材数量表 (NO. 5, 41)

記号	名称	規格・寸法	数量	
	架設面積		25.0 m ²	
+	縦ロープ・横ロープ	12φ 3×7 G/0	54.4 m	8.1 m
X	斜めロープ	"		25.0 m
□	外周ロープ	"		21.3 m
+	補助縦横ロープ	12φ 3×7 G/0	架設内	18.7 m
X	補助斜めロープ	"	45.4 m	26.7 m
			実延長	20.6 m
			54.8 m	34.2 m
⊙	クロスクリップ	小	16 個	
+	巻付グリップ	12φ用	30 本	
+	ワイヤークリップ	12φ用	32 個	
X	Sクリップ	4.5×100×60	8 個	
—	テンションバー	6t ×50×260	10 個	
○	ターンバックル	22φ E&E	7 個	
X	三方Aクリップ	小	8 個	
◇	Sプレート	9t ×180×125	1 個	
⊙	岩部用交点アンカー	D29-1000	1 本	
⊙	土中用交点アンカー	R29-1500	0 本	
⊙	岩部用端部アンカー	D29-1000	8 本	
⊙	土中用端部アンカー	R29-1500 (R型鋼板付)	0 本	
⊙	土中用押えアンカー	R29-1500	0 本	
□A	バランスプレートA型	6t ×200×200	6 個	
□B	バランスプレートB型	6t ×200×170	2 個	
□C	バランスプレートC型	6t ×200×200	0 個	
+	巻付グリップ	16φ用	0 本	
○	端部ロープ (アイロック)	16φ 3×7 G/0 L=2.0	0 本	

* 当初設計時にはロープの割増率を1割増とする
 * 縦、横、斜めロープ1本に対し連結部材相当を差し引く (設計時はターンバックル等 -1.00m、巻付グリップ -0.16m×2とする)
 * 斜めロープは天端より下辺までロープを1本で構成する
 * 外周ロープは 50m/本 以下で構成する
 * 外周ロープ1本に対し連結部材相当を差し引く (設計時はターンバックル -0.30m、巻付グリップ -0.16m×2とする)

* 実延長は、補助ロープ両端の折返し長を含む (設計時は端部折返し長を +0.60m×2とする)

* ロープの端処理に使用 (両端 2本)
 * 巻付グリップが設置困難な箇所に使用
 * 補助ロープ端部折り返し箇所に4個

* 主ロープの2スパンに 1個
 * 主ロープ 1本に 1個

* バランスプレートの浮き上がりなどが発生する場合や、岩塊を押え込むことができない箇所においては、適宜押さえアンカーを増設する

* 端部ロープに使用する

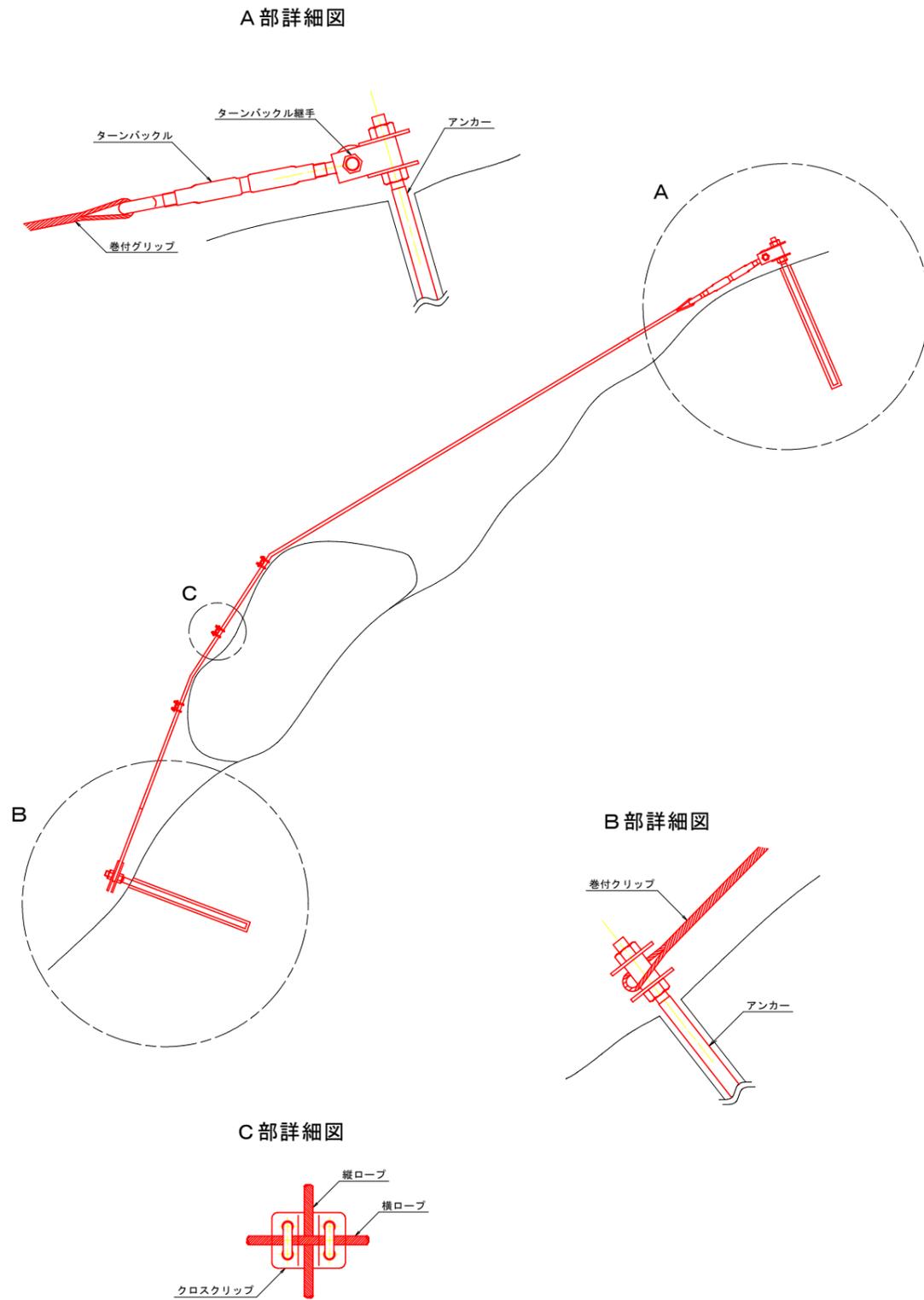
* アンカーの種類 (岩部用・土中用) は、アンカー調査後、設計計算書を基に変更する。
 * 岩塊を押え込むことができない箇所においては、適宜アンカーを増設する。
 * 設計数量等は概算のため、施工時に適宜調整し変更する。

参考図

工 事 名	R1馬土 国道492号 美・穴吹調子野 落石防止工事		
路 線 名 等	一般国道492号		
工 事 箇 所	美馬市穴吹町調子野		
図 面 名	ロープ伏工展開図 (参考図)		
縮 尺	1:100	図面番号	9 / 11
会 社 名			
事 業 者 名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 (美馬)		

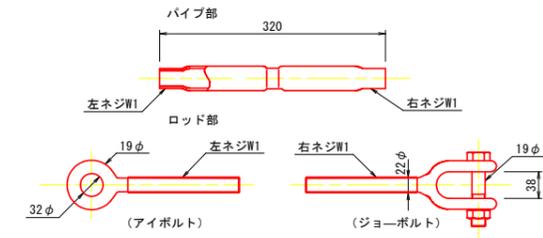
ロープ掛工標準断面図・部品詳細図

標準断面図

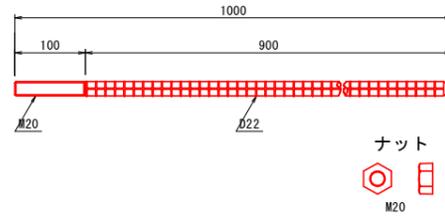


部品詳細図

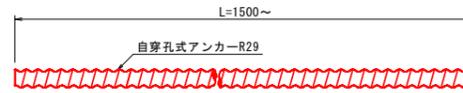
ターンバックル S=1:5
(22φ J&E)



岩部用アンカー SD345 D22-1000 S=1:5



自穿孔式アンカー R29-1500~ S=1:5

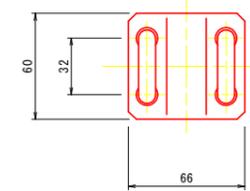


ナット カップリングスリーブ チップ付ビット

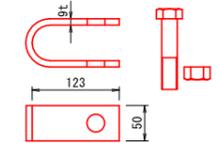


L=1500より長いアンカーはカップリングスリーブを使用する。

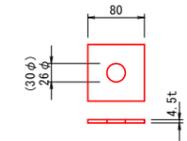
クロスクリップ (小) S=1:2



ターンバックル継手 S=1:5
9 t × 50 × 123

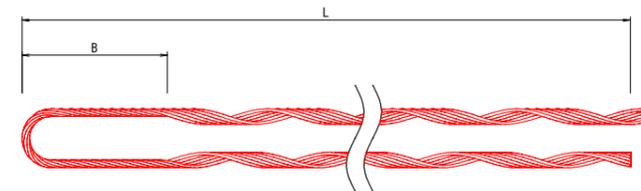


角座金 4.5 t × 80 × 80 S=1:5



巻付グリップ12φ用 S=1:5

ワイヤーロープ S=1:2
12φ 3×7 G/O



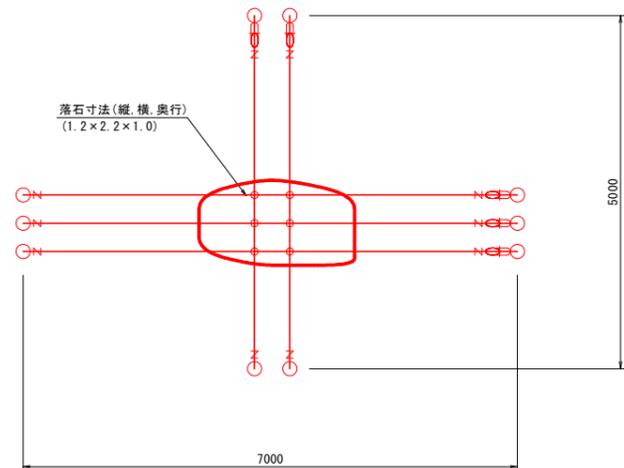
ロープ径	L	B
12φ	900+50	160

参考図

2工区	
工事名	R1馬土 国道492号 美・穴吹調子野 落石防止工事
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市穴吹町調子野
図面名	ロープ掛工標準断面図・部品詳細図 (参考図)
縮尺	図示 図面番号 10 / 11
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 (美馬)

ロープ掛工展開図 S=1:50

2工区-N0.26



部材数量表

2工区-N0.26

記号	名称	規格・寸法	数量	計算式
—	縦ロープ	12φ 3×7 G/0	9.4 m	$5.00 \times 2 = 10.00$ $-0.16 \times 2 \times 2 = 9.36$
—	横ロープ	12φ 3×7 G/0	20.0 m	$7.00 \times 3 = 21.00$ $-0.16 \times 3 \times 2 = 20.04$
⊕	クロスクリップ	小	6 個	$2 \times 3 = 6$
⊕	巻付グリッ	12φ用	10 本	$(2+3) \times 2 = 10$
○	ターンバックル	22φ J&E	5 個	$2+3=5$
□	ターンバックル継手	9t×50×123	5 個	$2+3=5$
○	岩部用アンカー	D22-1000	10 本	10
●	土中用アンカー	R29-1500	0 本	0

* アンカーの種類（岩部用・土中用）は、アンカー調査後、設計計算書を基に変更する。
 * 設計数量等は概算のため、施工時に適宜調整し変更する。

参考図

2工区

工事名	R1馬土 国道492号 美・穴吹調子野 落石防止工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市穴吹町調子野		
図面名	ロープ掛工展開図(参考図)		
縮尺	1:50	図面番号	11 / 11
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部(美馬)		